

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	介護経過記録について、入居者様の細かな変化も見逃さずに、その内容を日々のケアに活かしていく為にも、記録内容の充実を図り、管理責任者を明確にして、その取り組みを継続していく必要がある。	日々の入居者様の様子が、介護経過記録から分りやすく読み取れるように、簡潔かつ、具体的に個別の記録を残せるようにする。	○ケアプランに沿ったケアの内容を具体的に記入する。 ○入居者様の些細な変化についても、記録して、職員の 気付きや、カンファレンスに活かす。 ○取り組みを継続して行い、管理者が記録の管理、チェックを行う。	12ヶ月
2	6	高齢者虐待防止、身体拘束廃止をテーマとして行った研修内容について、そこで得た知識を日々のケアを振り返る中で活かしていき、閉塞感・抑制感のない支援への取り組みを継続していく必要がある。	研修で得た知識を、日々のケアの中で活かす。	○高齢者虐待防止、身体拘束廃止をテーマにした内部研修をこれまで同様に定期的に継続して実施していく。 ○毎月のカンファレンスや各種ミーティングにおいて、研修内容を振り返り、意識付けを徹底する。 ○ケアに対する職員の疑問点や不安感等を軽減できるよう、個別面談やその場での話し合いを継続していく。	12ヶ月
3	33	重度化・終末期への段階に応じた支援について、統一された支援を実施できるよう研修等を継続して行い、その対応を職員が周知徹底する必要がある。	重度化・終末期への支援について、内部研修をより充実させて、その支援方法を徹底する。	個別の事例を挙げながらも、ホーム全体として重度化・終末期への具体的な支援を挙げ、内部研修で知識を浸透させ、各種ミーティング等でその内容を振り返って、その方法を実践していく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。